番 号 A 34

活 動 名 称 (40字以内)	地方創生総合戦略を学ぶ! ~自治組織・市・広域自治体協議会の連携で未来を拓く~		
団体名等	松江市・担当者:松江市産業経済部産業連携専門監 矢野正紀		
活 動 区 分	□ ボランティアなどの社会貢献活動□ 国際交流体験活動■ 就労体験活動□ 農林水産業・地域体験活動□ フィールドワーク体験活動□ 研究室体験活動	選考方法	□ 先着順■ 書類審査□ 面接3 人
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019年8月 ~ 2019年9月 9泊10日(実質6日就業体験)	主な活動場所	松江市及び中海・宍道湖・大山圏域
目 的	 ・地方創生を地域ぐるみ、広域連携によって進める自治体と広域連携協議会をくまなく巡り、人口減少社会の中での住民自治、市政運営、広域行政を学び、地方都市の発展の可能性、都市と地方の共生による我が国の発展を考えるとともに、自己の適性、公務員として働くことの意義などを考える機会としてもらう。 ・市内29地域で住民が作成する地域版総合戦略策定に参画し、住民手づくりの地域再生、地域課題解決をともに学ぶ。 		
具体的な内容 (800字程度)	1. 事前学習 ○参加者には、7月に東京大学に出向いて事前学習を行います。 ・インターンシップに参加する上での心構え、松江市及び全国でも珍しい県境を跨ぐ「中海・宍道湖・大山圏域市長会」の概要 ・地方創生、人口減少対策に挑戦する、市内29地区、市、圏域市長会それぞれの総合戦略の現状 2. 概要説明 人口減少社会において、最も重要な課題として地方創生、人口減少問題への対応があります。松江市もまち・ひと・仕事創生に向けて「人口ビジョン・第1次総合戦略」を策定して推進しています。また、県境をまたぐ住民の生活圏、経済圏が一体となった自治体5市で「圏域市長会」を設立し、独自の総合戦略を策定し広域連携により経済署とも一緒になって地方創生に取り組んでいます。さらに、市内29地区では、住民主体で地域版総合戦略を作成することとしており、このインターンシップでは、未作成の一つの地域に入り、住民とともに戦略作成に参加します。市内各地区、松江市、圏域市長会の地方創生、人口減少対策事業を学び、関係住民、団体等との意見交換を行い、各地域、市と圏域市長会の連携、役割分担を体験し、地方創生の可能性、都市と地方、自治体行政の在り方を自ら考える機会とします。 ・松江市長及び圏域市長会長等との懇談・松江市及び圏域市長会の総合戦略の主要施策について学び、現地視察や業務の実習体験を行う。 ・参加者は、市内29地区のうち地域版総合戦略未作成の地区(現在17地区)の1つの地区に入り、地域の宝さがし、課題を発見し、地区住民と一緒に戦略作成に参画します。		
備考	圏域市長会は、鳥取県米子市、境港市、島根県松江市、出雲市、安来市で設立し、鳥取県大山圏域の7町村(日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町)がオブザーバーとして参画している。		
参加するための 費用 [※]	宿泊費 26,000 円 - 松江 (食費) 実費 円 泊は () 円	ターンシップに伴う松流市が送迎等を行います I市内での宿泊に際し 市が用意する宿泊施記	ては、各自4泊は自己負担で確保し、5 役で泊まってもらえます。
	計 円程度	奨励金額 	35,000 円
ウェブサイト等	松江市 : http://www.city.matsue.shimane.jp 圏域市長会 : http://www.nakaumi.jp		